

SMARTCITY
EXPO WORLD CONGRESS

3 - 5 NOVEMBER 2026
BARCELONA

Organised by:



Hosted by:



**THE WORLD'S
BIGGEST, MOST
INFLUENTIAL
EVENT FOR
CITIES AND
URBAN
INNOVATION**



出展申込はこちらから

世界最大の都市イノベーション・ショーケース

SMART CITY EXPO WORLD CONGRESS 2026

Japanパビリオン出展 及び 視察プログラムのご案内

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート

5月22日現在

住民視点で都市レジリエンス・Well-Being向上を目指す 日本型スマートシティ・地域イノベーションモデルをグローバル展開へ

平素は、スマートシティ・インスティテュート（SCI-Japan）の事業活動に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。
SCI-Japanは、本年11月3～5日にスペイン・バルセロナ市で開催される都市イノベーションに関する世界最大のイベント、「Smart City Expo/World Congress（SCEWC）」に、SCI-Japan会員である日本の自治体、企業、団体からの出展社とともに、5回目となるJapanパビリオンを設置することとなりました。

同イベントは世界140超、850超の都市、企業、大学研究機関、オープンイノベーション組織、スタートアップ/アクセラレータなどからの出展社・参加者25,000名以上が、スマートシティ先進都市・バルセロナに集結します。Japanパビリオン及び併設される国際会議“CONGRESS”を通じて、新政権が打ち出す地域未来戦略のもと、人間中心主義、住民参加型・産官学民共創により、都市レジリエンス・Well-Being向上を目指す「日本型スマートシティ・地域イノベーションモデル」のグローバル展開を打ち出していければ、と考えております。
また、併設展であるTomorrow Mobility, Tomorrow Building, Tomorrow Blue Economyの場も活用し、皆様と協働で日本独自の技術・ソリューションを世界に訴求するブレイクアウト・セッションのセミナーを主催者に企画提案できましたら幸いです。

SCI-Japanは、Japanパビリオン及び視察プログラムを通じて、参加される自治体と海外都市との協力・連携や、企業・スタートアップ間のビジネスマッチングを支援するとともに、スマートシティ開発・運営を通じた持続可能な街づくり、地域・都市経営モデルの構築、デジタルテクノロジーの実装・運用に向けた人材開発・活用・組織開発・運営に関する知見共有やイノベーション共創機会を提供いたします。

つきましては、添付資料をご高覧の上、皆様の所属部門と共に、関心を持ちそうな部門へ是非ご周知いただき、本イベントへの参加を関連部門全体でご検討いただけますと幸いです。

◆2023年SCI-Japanは、主催者・FIRA BARCELONAと「戦略的パートナーシップ」を締結しました。

<https://www.sci-japan.or.jp/news/partner/fira.html>

一般社団法人 スマートシティ・インスティテュート

Smart City Expo World Congress (SCEWC) とは

バルセロナで開催される世界最大の都市イノベーションイベント 今年で16回目の開催

会期	2026年 11月 3日 (火) ~ 5日 (木)
会場	Fira de Barcelona Gran Via (スペイン バルセロナ)
主催者	Fira de Barcelona
チケット代	コンgresパス/€1,250 (約231,250円)
開催頻度	年 1 回: Mobility 専門展 Tomorrow Mobility を併設。 本年より Tomorrow Building (Building Infrastructure) 、 Blue Economy に関する専門展を併設
昨年の実績	来場者数 27,104人 参加国数 138 / 参加都市 997 / 出展社数 1,190 / 講演者592名
本年の目標	来場者数 25,000+ 参加国数130+ / 参加都市 850+ / 出展社数 1,100+
出展対象	スマートシティ事例、地域・都市DX、オープンイノベーション関連技術、 データ活用・ガバナンス関連技術、新エネルギー・地産地消エネルギー関 連技術、スマートヘルスケア関連技術、デジタルツイン・ビル・インフラ関連 技術、新モビリティ関連技術、観光・文化デジタルアーカイブ関連技術、ス タートアップ

THE WORLD'S
BIGGEST, MOST
INFLUENTIAL
EVENT FOR
CITIES AND
URBAN
INNOVATION

公式サイト

<https://www.smartcityexpo.com/>



日本の参加自治体実績

横浜市 (11回)、京都府 (9回)、神戸市 (5回)
福岡市 (3回)、東京都 (5回)、境町 (4回)
富山市/仙台市/福島県/北九州市/名古屋市 (1回)

昨年のジャパン・パビリオンは20社・団体が出展。3日間の訪問者数は約5,300名超と大盛況

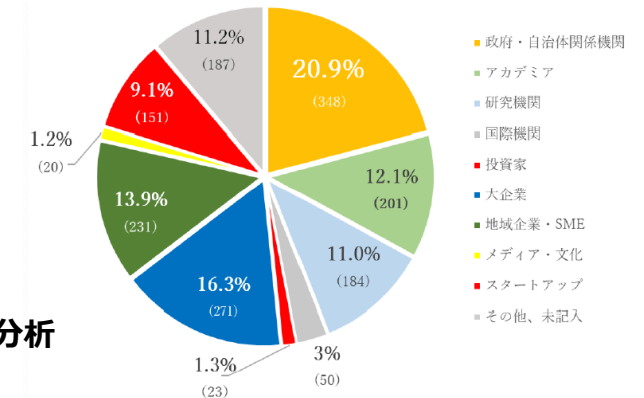
■ジャパン・パビリオン、東京都ブースの出展内容

団体・企業名	取り組み内容
内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局	スマートシティの基盤データの次世代アーキテクチャー「SCRA5」では欧州など海外との連携を進めて、デジタルツイン基盤との連携による空間IDの構築など課題解決技術の相互活用を促進する。
内閣府地方創生推進事務局	国家戦略特区の「スーパーシティ（茨城県つくば市、大阪府・大阪市）」において開発や実装が進む先端サービスを展示。つくば市では、生成AIで住民の声を可視化するシステムや夜間・休日のオンライン診療サービスなどの取り組みを紹介するほか、大阪府・大阪市では、大阪・関西万博でも展示された空飛ぶクルマなど、モビリティやヘルスケア分野の先端的な取り組みを紹介。
国土交通省「PLATEAU」関連 共同出展	
国土交通省	3D都市モデル整備・活用・公開プロジェクト「PLATEAU」を推進。約250自治体（日本人口の半分に相当）で、三次元の都市空間データを無償提供し、まちづくりや防災のDXに活用。海外からも注目。
Eukarya（ユーカーヤ）	地理空間データを扱えるデータプラットフォーム「Re:Earth」はプラットフォームの基盤として活用されている。被災時の避難ルートなど自治体で有効な追加機能も提供し、海外でも顧客を開拓。
フォーラムエイト	ハンドルとアクセルを操作できる仮想運転デモで、都市シミュレーション技術力の高さを示した。人流や洪水時の浸水などを高精細の映像で可視化できる技術に強み。
シナスタジア	東大発スタートアップ。3D地図やVR・AR技術を活用し、住民が完成後のまちの姿を直感的に理解し参加しやすくなる没入感のある高精細映像によるシミュレーションを実現。自動運転の検証や景観シミュレーション、再開発・都市計画に活用できるサービスを国内外の自治体へ提供している。
衛星地球観測コンソーシアム（CONSEO）	JAXAが事務局を務める産官学の衛星地球観測コミュニティーで多数の企業や団体が加入。最新衛星「たいち4号」など官民の衛星で、減災やインフラ監視などの都市DXやカーボンクレジット創出などのGXに貢献。
JICA（国際協力機構）	2015年のネパール地震に関し、衛星画像と住民の手書き地図を組み合わせた住民参加型でデータに基づく復興計画の策定、電子建築許可申請システムによる手続き効率化等のスマートシティ施策を紹介。

IIJ（インターネットイニシアティブ）	地域の暮らしを支える専門職間の情報基盤「IIJ電子@連絡帳（SC-HUB）」は、医療介護、高齢者の見守りなどのほか、防災や教育にも活用分野が広がり、国内自治体での導入が進んでいる。さらに銀行預金をトークン化したデジタル通貨で安全かつ迅速に決済ができる「DCJPY ネットワーク」も紹介した。
NTTデータ	被災時の意思決定をAIで支援する防災システム「D-Resilio」は被災状況や物資不足などをリアルタイムで可視化するとともに、生成AIが最適な取るべき推奨行動を提案することが特徴。海外自治体が直面する洪水や山火事でも利用しやすく、NTTの堅牢（けんろう）な通信ネットワーク技術も強みとなる。
三菱地所グループ	三菱地所設計が大型模型で展示した仮想都市モデル「グリーンループ」は脱炭素や自然との共生など都市の課題を効果的に解決するモデルとして注目された。先端テクノロジーの実装やウェルビーイングの向上など新たなスマートシティ像を提示。
Synspective（シンスペクティブ）	「宇宙×地上インテリジェンス」で都市の変化を連続的に把握。防災・インフラ保全・経済活動を可視化し、状況に合わせた最適解を導き出す、ダイナミックで強靱（きょうじん）な都市づくりを提案。
MAP IV（マップフォー）	自動運転向けの3次元地図生成と解析技術を活用し、街区を高精度に3D化するソフトウェアなどを開発。インフラの点検や監視など、従来の人に頼った目視業務の負担軽減など幅広いサービスを提案している。
H-U TokyoLab.（日立東大ラボ）	巨大都市でも心豊かな暮らしを実現する研究の成果として、VR空間で大人も子供も歩きやすい道を評価できるシステムを紹介。いけばな等の文化に関連した多視点デジタルアーカイブについても展示した。
東京都	レジリエンスをテーマに、AIなどデジタル技術を活用した都の水害・暑さ・地震対策をアピールした。また、スマート東京推進エリアの事業者やスタートアップと連携し、デジタルツインなどを活用した防災対策やスマートサービスなど、先進的なスマートシティの取り組みを紹介した。
横浜市	2027年に横浜市で開催される国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」を紹介。「幸せを創る明日の風景」をテーマに、気候変動や生物多様性の損失などの地球規模の課題解決に向けて世界の人々とともにアクションしていくことをアピールした。
茨城県境町	人口2万4000人と小さな町ながら、国内の自治体で初めて自動運転バスの公道定時運行を実装。ふるさと納税や国交付金の活用など「稼げる自治体」として、移住定住施策など先進施策を推進していることを訴求。

◎ジャパン・パビリオンにチェックイン（リーダー読み取り）した人の国別内訳（N:1,082）

スペイン	459	ポーランド	14	ブルガリア	3
日本	127	スウェーデン	14	キューバ	3
ドイツ	107	UAE	13	エクアドル	3
イタリア	100	エストニア	12	ケニア	3
韓国	63	クロアチア	11	ノルウェー	3
フランス	61	デンマーク	11	セルビア	3
オランダ	60	ギリシャ	11	スロベニア	3
ブラジル	52	トルコ	10	ポリア	2
イギリス	42	キプロス	9	香港	2
サウジアラビア	38	フィリピン	9	ナミビア	2
アメリカ	36	カナダ	8	ナイジェリア	2
マレーシア	31	スイス	8	スロバキア	2
チェコ	29	ウクライナ	8	台湾	2
ベルギー	28	オーストリア	7	タンザニア	2
アルゼンチン	26	中国	7	コスタリカ	1
インド	23	リトアニア	7	インドネシア	1
ルーマニア	23	メキシコ	7	ヨルダン	1
ポルトガル	21	アイスランド	6	レバノン	1
シンガポール	19	オーストラリア	5	モルディブ	1
イスラエル	18	コロンビア	5	カタール	1
フィンランド	16	チリ	4	タイ	1
ハンガリー	16	ラトビア	4	ウルグアイ	1
アイルランド	14	モロッコ	4	ウズベキスタン	1
ルクセンブルク	14	南アフリカ	4	ベトナム	1



◎ジャパン・パビリオン来訪者属性分析

『Japanパビリオン』2026出展の狙い (Ver 1.0)

- ①都市レジリエンスと連動した共助・共創型スマートシティ・ビジネスモデルを世界と共有：**地域のWell-Being**を目指す日本のスマートシティ、地域モビリティ、地域脱炭素化、循環経済と連動した政策・取り組み・先進事例を紹介
- ②バルセロナ市をはじめ参加都市とのダイアログの場を設定し、**都市間連携を通じたビジネスモデルの知見共有（データ連携基盤、オープンデータ利活用、地域モビリティ、地域脱炭素化とスマートシティ政策の連携など）**、関連するスタートアップや都市開発デベロッパー同士のビジネスマッチングを推進
- ③Japanパビリオン出展代表者を主催者レセプションにご招待。世界のスマートシティ・リーダー、Japanパビリオン・視察ツアーに参加する日本政府、自治体、企業とのネットワーキングの機会を提供
- ④パビリオン内ステージにて、SCI-Japanの提携団体・会員とのトークセッションやパネルディスカッションを企画
- ⑤主催者Fira de Barcelonaと戦略的パートナーシップを締結したSCI-Japanは、主催者のメディア“Tomorrow City” <https://tomorrow.city/> を通じて日本の先進的なスマートシティの取り組みを世界に発信

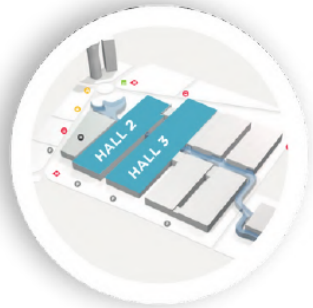
注1) Japanパビリオンへの出展は、基本的にスマートシティ・インスティテュートの会員に限られます。

なお、スタートアップ企業（会費無料）は、SCI-Japan正会員企業または賛助会員の推薦があれば、理事会の承認をもって入会が可能です。この機会にぜひご入会をご検討いただけますと幸いです。詳しくは、こちらをご覧ください：<https://www.sci-japan.or.jp/>

注2) Tomorrow Mobility展については、SCI-Japan非会員の方も出展可能です。

今年も CONGRESS (国際会議) 会場がある Hall 3 の好位置確定

EVENT MAP

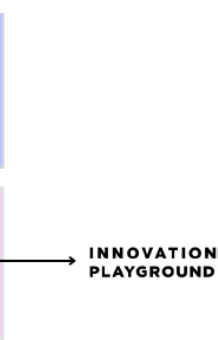
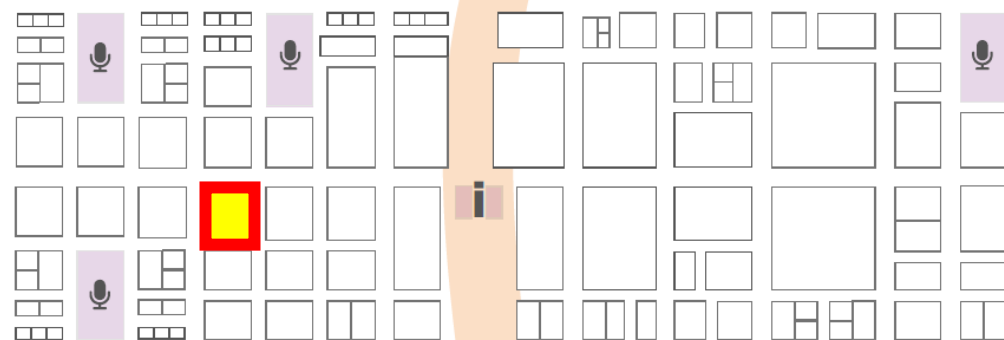


SMARTCITY
EXPO WORLD CONGRESS

TOMORROW. MOBILITY
WORLD CONGRESS

TOMORROW. BUILDING
WORLD CONGRESS

TOMORROW. BLUE ECONOMY
WORLD CONGRESS

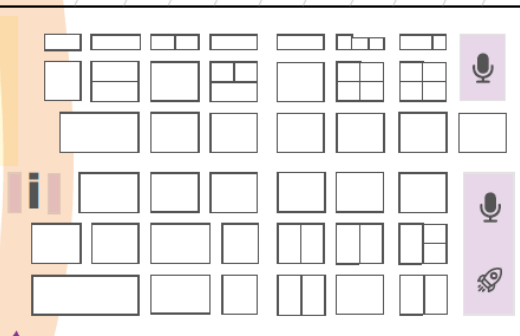
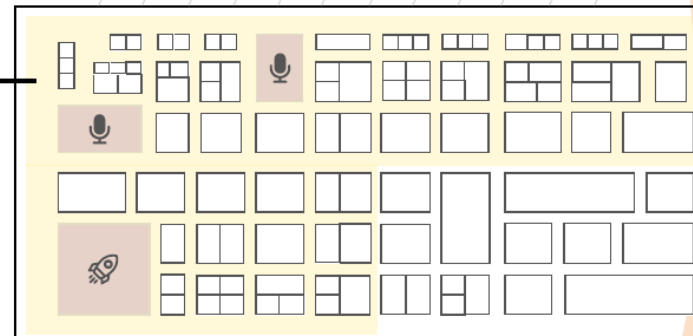


HALL 3

THE AVENUE

OUTDOOR AREA

TOMORROW. MOBILITY
WORLD CONGRESS



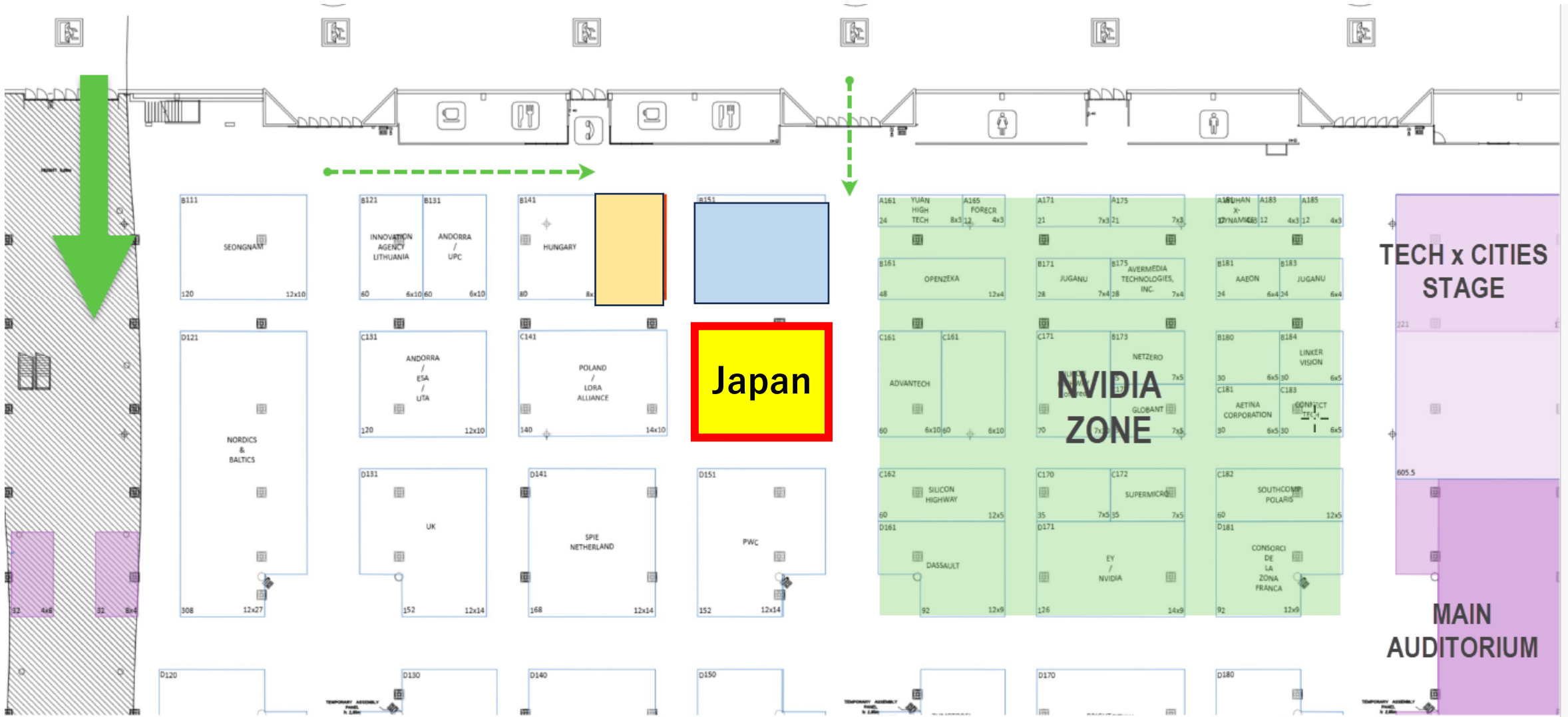
HALL 2

ENTRANCE

- Thematic Stages
- Startups
- Investors Lounge

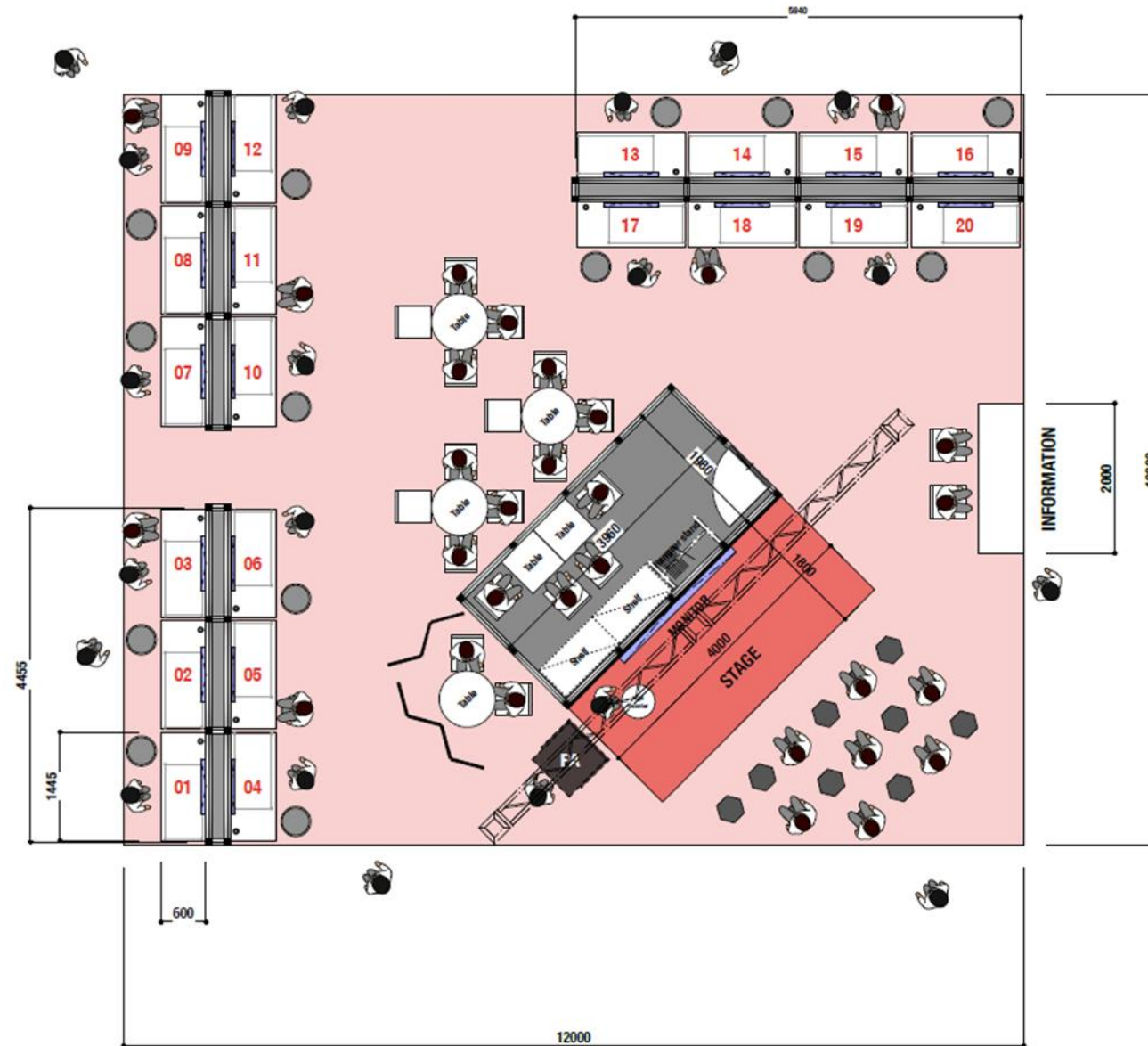
Exclusive access for Full Congress & Investor Passes

NVIDIAパートナー・パビリオンと隣接



2026年Japanパビリオン レイアウト (120sqm)

変更になる場合がございます。



2026年Japanパビリオン レイアウト (120sqm)

変更になる場合がございます。



2026年Japanパビリオン レイアウト (120sqm)

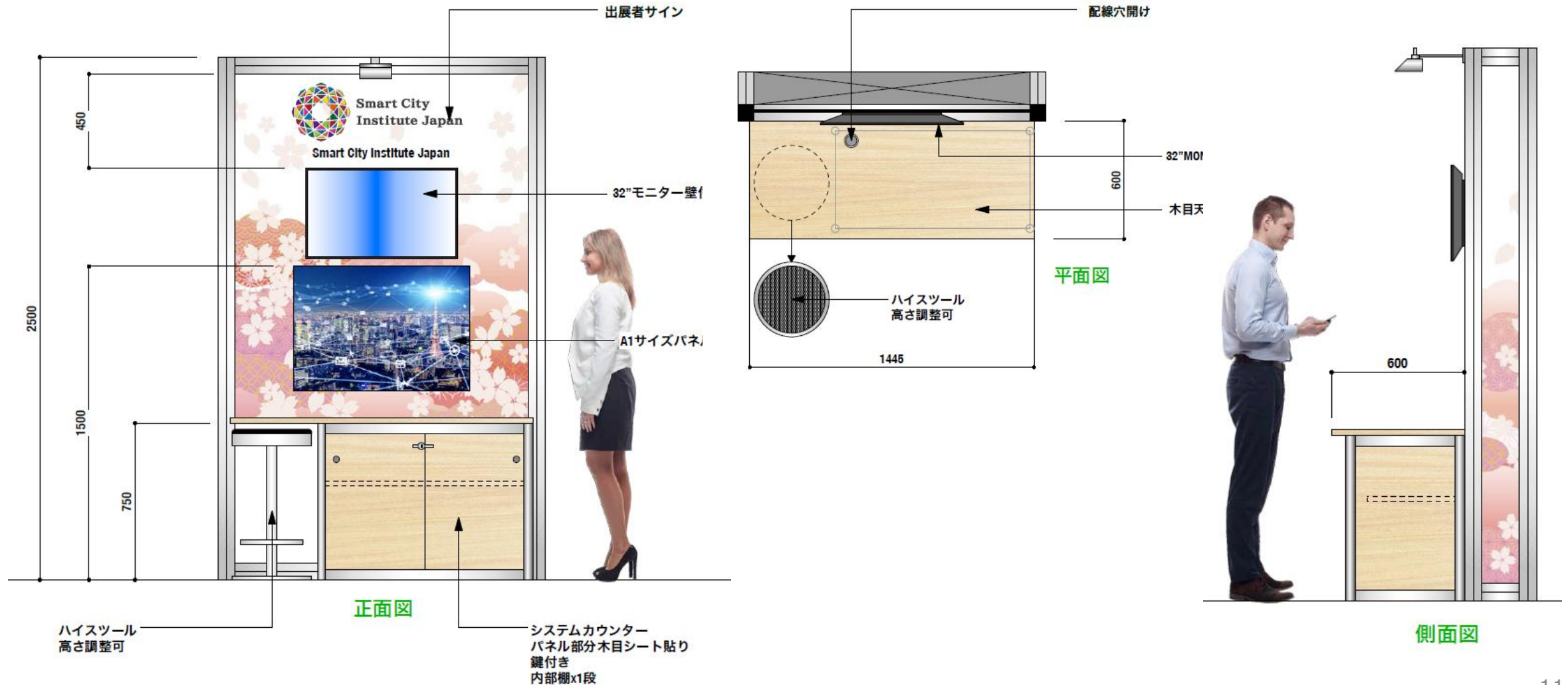
変更になる場合がございます。



2026年展示ブースの仕様 1小間

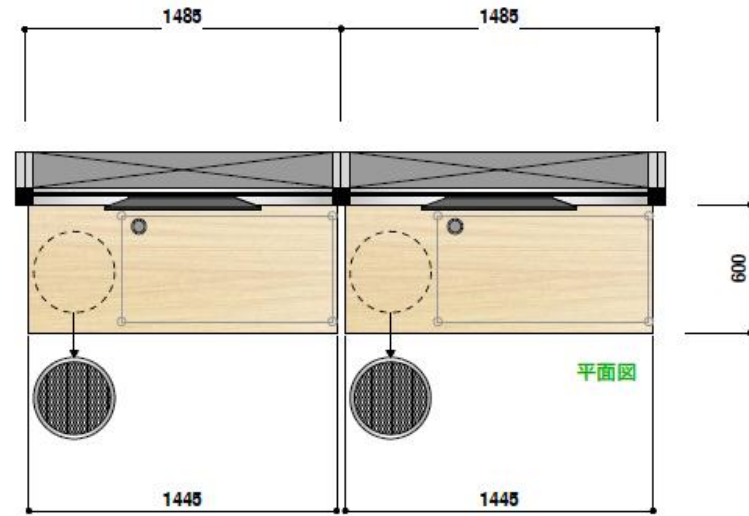
*仕様は今後変更となる場合がございます。
*別途デザイン変更を希望する場合はお早めにご連絡ください。

*片面分が1コマとなります。



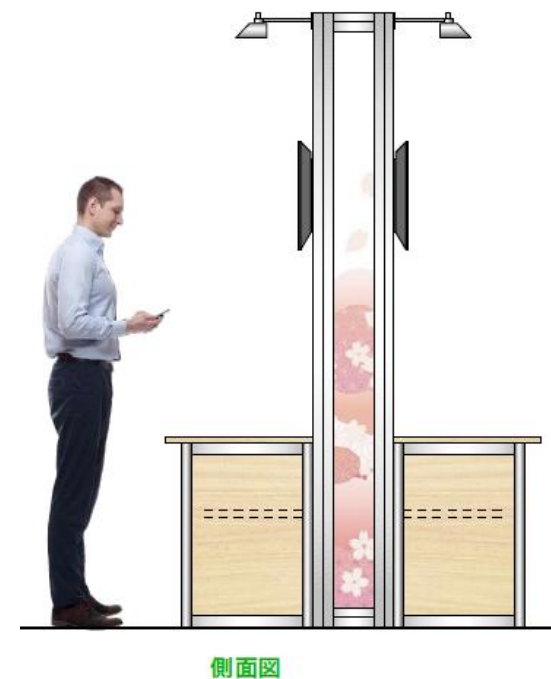
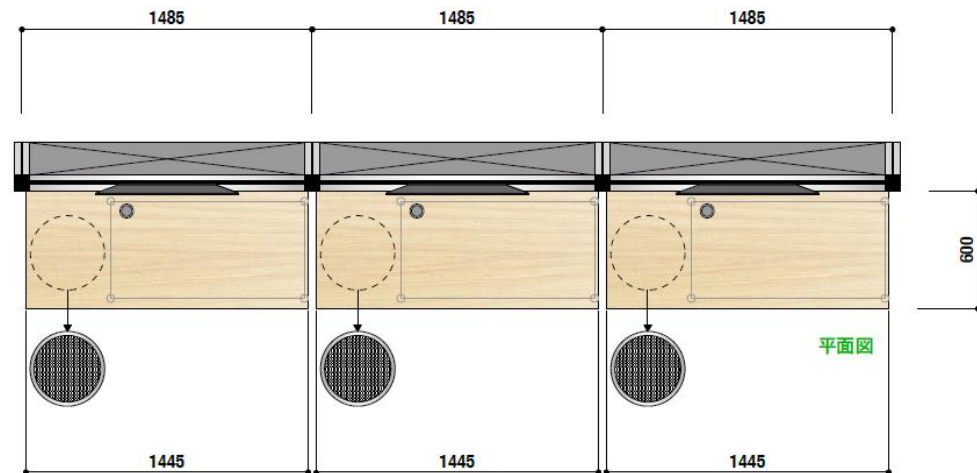
2026年展示ブースの仕様 2小間

*仕様は今後変更となる場合がございます。
*別途デザイン変更を希望する場合はお早めにご連絡ください。



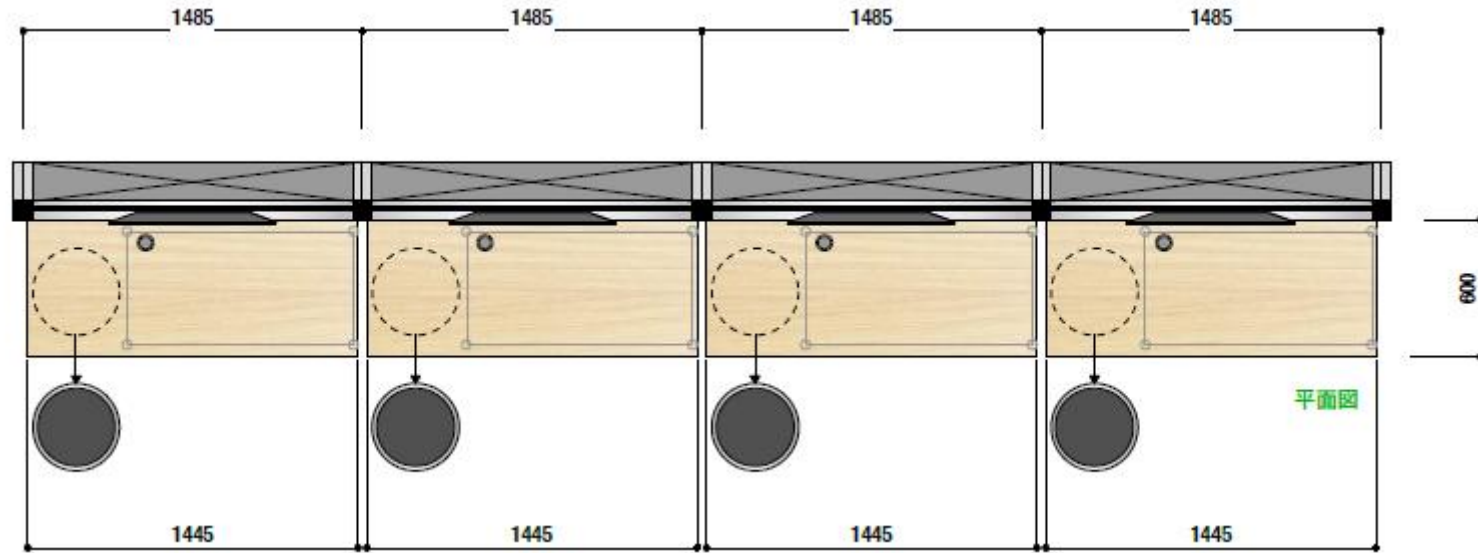
2026年展示ブースの仕様 3小間

*仕様は今後変更となる場合がございます。
*別途デザイン変更を希望する場合はお早めにご連絡ください。



2026年展示ブースの仕様 4小間

*仕様は今後変更となる場合がございます。
*別途デザイン変更を希望する場合はお早めにご連絡ください。



Japanパビリオンのイメージ及び基本パッケージプラン



基本1コマパッケージプラン：会員早割(6月末まで) 170万円(税別)、会員以外・7月以降 180万円(税別)

1. 展示ブース：ターンキーブース装飾・ディスプレイ込み) x 1基 (サイズ：1.445m(W) x 0.6 m(D)x 2.5m(H))
2. Japanパビリオン内イベントスペースでのプレゼン機会提供(1回 15分×最大2回)
3. ブース訪問者デジタル情報リーダー機材 (1機) ご提供
4. 各国出展・視察団へ提供、参加メンバーリスト (日英) 掲載
5. Japanパビリオンガイドブック (A4：英語) への出展内容紹介 (1 / 3 ページ、およびロゴ掲載)
6. Japanパビリオン内にて初日に開催、Japan Nightご参加 : 3名
7. Japanパビリオン内出展・視察参加者合同懇親会 (最終日ディナー) : 2名
8. Exhibitor パス (非売品) : 2枚
9. コングレスパス(1枚€1,250) : 1枚
10. 視察レポートのご提供

※プログラム内容は変わることがございます。

SCI-J会員のみ

6月末まで早割価格/ 小間数特典早見表

正会員A・エリア正会員特典対象

※特典・金額は変更になる可能性があります。

小間数	1小間	2小間	3小間	4小間	備考(パス金額は2025年度)
税抜(円)	1,700,000	3,400,000	5,100,000	6,800,000	7月以降は1小間180万円(税別)になります。
消費税等	170,000	340,000	510,000	680,000	
税込金額(円)	1,870,000	3,740,000	5,610,000	7,480,000	後述キャンセルポリシーをご確認ください。
ブース	1基	2基	3基	4基	
会期中プレゼン 15分	2回	最大3回	最大3回	最大3回	3回の場合は、1日1回です。
リーダー機材	1機	1機	1機	1機	追加は有料で承ります。(金額未定)
メンバーリスト	一式	一式	一式	一式	参加者、海外出展者、訪問先に展開します。
ガイドブック出展内容紹介	1/3頁	1/3頁×2本	1/3頁×3本 あるいは1ページ	1ページ	
ロゴ掲載	○	○	○	○	
Japan Night	3名	6名	9名	10名	初日夕方、Japanバビリオン内で開催予定
最終日ディナー(立食)	2名	4名	6名	8名	追加参加は有料で承ります。(2025年24,000円)
Exhibitor バス(非売品)	2枚	4枚	6枚	8枚	詳細は後述「パスの説明」をご覧ください
コンgres パス	1枚	2枚	3枚	4枚	詳細は後述「パスの説明」をご覧ください
視察同行	1名	2名	3名	4名	訪問先によっては参加人数に制限がある可能性があります。 その場合は視察単独参加者を優先いたします。
視察レポート	一式	一式	一式	一式	

SCI-J会員 7月以降申込、
SCI-J会員以外の方はこちら

基本小間数特典早見表

正会員A・エリア正会員特典対象

※特典・金額は変更になる可能性があります。

小間数	1小間	2小間	3小間	4小間	備考(パス金額は2025年度)
税抜(円)	1,800,000	3,600,000	5,400,000	7,200,000	
消費税等	180,000	360,000	540,000	720,000	
税込金額(円)	1,980,000	3,960,000	5,940,000	7,920,000	後述キャンセルポリシーをご確認ください。
ブース	1基	2基	3基	4基	
会期中プレゼン 15分	2回	最大3回	最大3回	最大3回	3回の場合は、1日1回です。
リーダー機材	1機	1機	1機	1機	追加は有料で承ります。(金額未定)
メンバーリスト	一式	一式	一式	一式	参加者、海外出展者、訪問先に展開します。
ガイドブック出展内容紹介	1/3頁	1/3頁×2本	1/3頁×3本 あるいは1ページ	1ページ	
ロゴ掲載	○	○	○	○	
Japan Night	3名	6名	9名	10名	初日夕方、Japanバビリオン内で開催予定
最終日ディナー(立食)	2名	4名	6名	8名	追加参加は有料で承ります。(2025年24,000円)
Exhibitor パス(非売品)	2枚	4枚	6枚	8枚	詳細は後述「パスの説明」をご覧ください
コンgres バス	1枚	2枚	3枚	4枚	詳細は後述「パスの説明」をご覧ください
視察同行	1名	2名	3名	4名	訪問先によっては参加人数に制限がある可能性があります。 その場合は視察単独参加者を優先いたします。
視察レポート	一式	一式	一式	一式	

パスの種類、追加料金等ご案内

- 追加購入の料金は以下をご覧ください。(管理費、消費税等込。為替の変動があっても以下の金額に変更はございません。)
- Exhibitorパスは、パビリオン出展平米数に対し主催者からの供給枚数が決まっているため、数に限りがございます。
- 取引先招待等のご利用の場合は、特典配布分ではなく、コンGRESまたはビジターパスを追加でご購入ください。

種類	1枚、1名 消費税、管理手数料込	前日 入場	会期中 入場時間	見学箇所
Exhibitor パス (出展作業専用非売品、枚数制限あり)	61,605円	可	30分前可能	コンGRES(特別講演)含む全箇所
コンGRESパス	256,687円	不可	指定開場時間	コンGRES(特別講演)含む全箇所
ビジターパス	30,802円	不可	指定開場時間	通常展示の見学のみ
最終日懇親会 (立食)	24,000円	—	—	—

パビリオンの施工、シアタープレゼン等については、
施工会社JTBコミュニケーションデザイン（JCD）が行います。
9月にオンライン説明会を予定しております。

1. 窓口となる方のご連絡先の共有（申込とともに）
 2. JCDより、出展要項、コミュニケーションシート、現地参加者情報シートをお送りします。（7月中旬頃）
 3. 各種シート、各種素材をご提出（9/4期限）
 4. JCDより共催シアターに関する連絡（9月末頃）
 5. 共催シアター投影資料提出（10/14期限）
 6. 入場パスの配布（10月中旬以降予定）
- 入場パスの配布は、現地参加者情報シートを基に行います。
 - 施工依頼内容によっては追加料金がかかる場合がございます。
 - 各種パス、最終日ディナーの追加購入は、SCI-Japan事務局へご連絡ください。

Japan, Regional Revitalization2.0

City-to-City Collaboration for Well-Being and a Resilient Society

SMARTCITY EXPO WORLD CONGRESS
4・6 NOVEMBER 2025
BARCELONA

Organized by Smart City Institute Japan

Supported by JETRO, 日本商工会議所, 日西経済委員会



Tokyo Metropolitan Government

“Smart Tokyo,” the most tech-enabled, convenient and comfortable city

Tokyo is driving the digital transformation of government services to create a more convenient and comfortable life for all residents throughout the city.

ABOUT TOKYO PAVILION

- Beating the Heat**
[Bureau of Environment, Tokyo Metropolitan Government]
A system that visualizes WGI on a map has been implemented to mitigate health risks from extreme heat and promote heatstroke prevention.
- Flood Control Measures**
[Bureau of Port and Harbor, Tokyo Metropolitan Government]
By leveraging AI to forecast water levels during storm surges, precise floodgate operations are made possible, contributing to the prevention of urban flooding.
- Measures against Earthquakes**
[Tokyo Metropolitan Government Technology Council]
To minimize damage from major earthquakes and other emergencies, both structural and non-structural disaster prevention measures are actively being implemented in Tokyo.
- TOKYO Resilience Project**
[Office of the Governor for Policy Planning, Tokyo Metropolitan Government]
The TOKYO Resilience Project—Aiming for Safety for the Next 100 Years—diffuses measures addressing the key disaster risks: storm and flood, major earthquake, volcanic ash, disruptions to power and communication infrastructure, and emerging infectious diseases.
- Disaster Mitigation**
[IAISE CORPORATION]
[NIPPON STEEL KOWA REAL ESTATE CO., LTD.]
The impact of natural disasters such as floods on cities can be assessed in advance through simulations based on digital twins, enabling a proactive countermeasures to mitigate damage.
- Disaster Response**
[The Council for Area Development and Management of Otomachi, Manouchi, and Yurakucho / Mitsubishi Estate Co.]
[East Japan Railway Company]
[Shimizu Corporation]
[Tokyo Land Corporation / SoftBank Corp.]
[Ito City (HANEDA INNOVATION CITY)]
Through the use of regional apps and other tools, a phase-free system has been developed that fosters community engagement and circulation in daily life, while ensuring rapid dissemination of disaster-related information and evacuation guidance in emergencies.
- Smart Solutions Be Smart Tokyo**
[NIOTEM Inc.]
[NMap]
By collaborating with startups, Tokyo creates new services to enhance the QOL (quality of life) of residents, workers, and all kinds of people in Tokyo.
- Tokyo Bay eSG Partner Smart Surfaces for Sustainable Cities**
[NIKON CORPORATION/bionic surface technologies]
Microstructured steel surfaces cut friction and energy use, reducing CO₂ and supporting smart, sustainable cities.
Realizing Resilient Urban Development through Digital Twin Technology and Advanced Disaster Prediction Simulations
[Space Data Co., Ltd.]
Technology that enables autonomous driving, robotics, and human flow simulation in urban development, as well as real-time disaster detection and disaster simulation in disaster prevention.
- Universal Navigation for Smart Cities**
[Ashtrase, Inc.]
We developed the world's first navigation device for visually impaired people and are expanding globally in 2025 with universal indoor & outdoor navigation for smart cities.
- Waterless HemoDialysis Solution**
[Physiologas Technologies Inc.]
A compact, safe, and simple home hemodialysis device that works without water supply or plumbing, ensuring care independent of water infrastructure.
- Sushi Tech Tokyo & Tokyo Bay eSG Project**
[Startup Strategy Promotion Headquarters]
As part of Sushi Tech Tokyo's international outreach, the Tokyo Metropolitan Government will showcase cutting-edge technologies by four Tokyo Bay eSG partners.

Under the concept of creating a sustainable city with High Technology, the Tokyo Metropolitan Government has been promoting “Sustainable High City Tech Tokyo” or “Sushi Tech Tokyo” for short, to convey the challenge of solving urban issues and the diverse attractiveness of the capital city.

TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT

Tokyo Metropolitan Government
2-8-1 Nishishinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/english/index.html>



MITSUBISHI ESTATE CO., LTD. / Mitsubishi Jisho Design Inc.

Green Loop: Shaping the Future of Urban Development

Green Loop Concept and Vision

Green Loop, building on the fundamental functions of green spaces, aims to mitigate the negative impacts of energy consumption, urban heat-island effect, CO₂ emissions, disaster vulnerability, and waste management.

These challenges are framed around four urgent themes: Carbon Neutrality, Circular Economy, Nature Positive, and Resilience.

By addressing these challenges, Green Loop provides practical solutions and actively contributes to creating a greener, more sustainable future. As a large-scale urban green space, not only it enhances the city's landscape but also generates social and environmental value for the local community.

Moreover, Green Loop is designed as a accessible space for well-being to everyone, where people can connect with nature, enjoy healthy recreation, and experience a sense of harmony with their surroundings.

Through the Green Loop, we envision transforming urban development into an integrated model of Next Urban Urbanism — demonstrating how cities can thrive sustainably while balancing innovation, community, and nature.

Green Loop Design Approach

The Green Loop is built on three interconnected layers that create a sustainable and engaging urban space.

At its core, the Spatial Layer drives innovation. Using science-based, evidence-driven methods, it integrates cutting-edge technologies to reduce environmental impacts. Focusing on Carbon Neutrality, Circular Economy, Nature Positive, and Resilience, it showcases practical solutions for a forward-looking, sustainable city.

The Activity Layer transforms the Green Loop into a vibrant space for everyone. Each section is carefully designed to reflect local context and land use, hosting unique experiences that educate and delight both residents and visitors. Walking, cycling, and moving through the Green Loop becomes an enjoyable journey filled with discovery.

The Social Layer ensures the system's long-term success. By engaging local governments, communities, academia, and industry, it fosters collaboration, allowing the Spatial and Activity layers to function efficiently and sustainably.

Together, these layers create a living urban ecosystem where innovation, nature, and community converge — demonstrating how cities can thrive while remaining harmonious with the environment.

These interconnected layers create the Green Loop which is sustainable and engaging urban space.

Tomorrow Mobility展, Tomorrow Building 展ご出展の場合： パッケージブースのご紹介

イメージは2025年のものです

Premium stands from 16 to 72 sqm

Material: ALUVISION アルミ素材のシステムディスプレイ

Aluvison stand MOD 1 - 16 to 50 sqm



COD 502135 16 to 24 sqm SERVIFIRA
COD 502151 25 to 50 sqm SERVIFIRA

180 €/sqm

Aluvison stand MOD 2 - 16 to 50 sqm
Includes graphics



COD 500316 16 to 24 sqm SERVIFIRA
COD 502152 25 to 50 sqm SERVIFIRA

210 €/sqm

Aluvison stand MOD 3 - 24 to 72 sqm
Includes graphics, tower and storage



COD 500317 24 to 50 sqm SERVIFIRA
COD 502153 51 to 72 sqm SERVIFIRA

230€/sqm

こちらは、独自のご出展となります。
パッケージブースのお申込みをSCI-Japan事務局にて
代行しますが、お申し込み以降のブース設営の準備、
各種運営サポートについては別途ご発注が必要となり
ます。日本パビリオンの運営・施工会社のJTBコミュ
ニケーションデザインをご紹介します。

Premium stands from 36 to 60 sqm

Materials: 100% SUSTAINABLE

サステナブル素材対応ブース

Certified Wood stand and
sustainable paint. ECO sign.
Available from 36 to 60 sqm



COD 500054 SERVIFIRA

290 €/sqm

100% Cardboard Stand.
ECO sign. Option to purchase.
Available from 36 to 60 sqm



COD 500053 SERVIFIRA

270 €/sqm

Premium stands from 20 to 60 sqm

Material: FIBER BOARD + PINEWOOD

繊維素材 x 松板のシステムディスプレイ

Wood stand 20 sqm
Includes furniture



250 €/sqm

Wood stand 30 sqm
Includes furniture



250 €/sqm

Wood stand 60 sqm
Includes furniture and graphics



250€/sqm

最終日 懇親会会場 (立食)

◆Restaurant Pomarada

- 場所: カサ・ミラの向かい側(住所:Paseo de Gracia, 78)
- 開催日:11月5日(木)19:00 - 21:00 予定
- 参加者:Japanならびに東京都パビリオン出展者、
視察プログラム参加者
- 無料参加可能人数:出展特典をご確認ください
- 追加参加料金:24,000円/1名(管理費・消費税込)



〈タパスメニュー予定〉

- ・ギブエロ産イベリコハムのトマトコブレッド添え
- ・チェリートマトと水牛モッツアレラの串仕立て
- 〜フレッシュバジルのピネグレット〜
- ・クリーミーチーズと胡桃を詰めたスモークサーモン
- ・ツナとサウザンアイランドドレッシングの Pasta サラダ
- ・ホアン風コロッケ
- ・イカのフィデウア (アオリソース添え)

〈ドリンク (セラー) 予定〉

- ・ミネラルウォーター
- ・ビール
- ・テラコッタワイン
- ・カステルブラン・ブルット・レセルバ (カヴァ)

〈デザート〉

- ・ミニペストリー盛り合わせ



キャンセルポリシーについて

■ Japanパビリオン出展

項目	取消料などについて
特典パス、ディナーの未使用について	パッケージ料金となりますので、返金はございません。
パス追加購入後のキャンセルについて	取消料はかかりません。ただし手配済の場合は、お買取りいただきます。
最終日ディナー追加購入後のキャンセルについて	レストラン指定10月7日(木)18時までのキャンセルは、取消料はかかりません。
出展社や主催者都合による参加・開催中止	それまでにかかった費用については出展社のご負担といたします

■ 視察プログラム

契約解除の日	取消料
研修開始日の3日前まで	取消料はかかりません ただし、Smart City Expo World Congressチケット（Congress Pass）を手配済の場合は、チケットをお買取りいただきます
研修開始日の2日前～旅行開始日当日	研修代金の50%
研修開始後または無連絡不参加	研修代金の100%

お申し込み・問い合わせ先

Japanパビリオンへの出展、視察プログラムへのお申し込み・お問い合わせは以下までお願いします。

■ Japanパビリオン出展お申し込み

第1次募集締切：2026年6月30日(火)

第2次募集締切：2026年8月7日(金)

<https://forms.cloud.microsoft/r/F4s7M65nUZ>

■ 視察プログラムお申し込み

<https://forms.cloud.microsoft/r/Z9hYc1JVuG>

■ お問い合わせ先：一般社団法人 スマートシティ・インスティテュート SCIJバルセロナ事務局

- 担当 北村、工藤、平山
- Tel 03-6733-3960 (平山)
- Email barscij@murc.jp
- 公式サイト <https://www.sci-japan.or.jp/>

出展申込



視察申込



SCEWC視察プログラムの募集要項

正会員A・エリア正会員特典対象

レート：5月13日現在

- 期間：2026年11月3日(火)～11月5日(木)【現地集合・現地解散 3日間】
- 訪問都市：スペイン王国カタルーニャ州バルセロナ市
- 利用言語：英語
- 募集定員：50名
- 参加料金：正会員特別料金 250,000円（別途、消費税等25,000円）
一般料金 300,000円（別途、消費税等30,000円）



<料金に含まれる費用>

- Smart City Expo World Congressチケット（Congress Pass €1,250 約231,250円 €1=185円換算）
- 現地オリエンテーション、Fira de Barcelona主催イベント参加費、Japan Night・最終日懇親会参加費等（詳細は次ページの通り）
- **航空券および現地での移動費、ホテル代は料金には含まれておりません。**
- **ご希望の方には、JTBのパッケージプラン（添乗員付き）を紹介します。**

■ 正会員会員特典の利用について

SCI-Japan／正会員A・エリア正会員の皆さまは、**会員無料特典（※）**を行使することができます。

（※）正会員A・エリア正会員には、毎期、年間1名様**の無料招待枠（25万円相当）**が付与されます。

過年度の未使用枠があれば、それも利用可能です。

なお、無料特典は、本プログラム、RMITエグゼクティブ研修、OASIS研修、C-R MAP研修（税抜12.5万円／1名、2名無料ご招待）等いずれかにご利用いただくことができます。詳しくは、SCI-Japan事務局までお問合せください。

- 申込期限：2026年8月28日(金)予定 ※9月に参加者向け説明会（オンライン）を開催予定です。

ご参考 2025年視察スケジュール

* 時間は昨年実績をもとに仮置きしております。確定スケジュールにつきましては、改めてご案内します

日程	主なスケジュール（予定*）
11月 4日（火）	9:00～17:30 Smart City Expo World Congress視察 ・先進スマートシティ出展ブース訪問 ・Japanパビリオン内イベント参加 ・CONGRESS参加 など 17:00～19:00 Japan Night（Japanパビリオン内イベントスペースにて）
11月 5日（水）	9:00～17:00 Smart City Expo World Congress視察 ・外部スマートシティ関連機関視察、先進スマートシティ出展ブース訪問 ・Japanパビリオン内イベント ・CONGRESS参加 など
11月 6日（木）	9:00～17:00 Smart City Expo World Congress視察 ・外部スマートシティ関連機関視察、先進スマートシティ出展ブース訪問 ・Japanパビリオン内イベント ・CONGRESS参加 など 16:45～17:00 Japanパビリオン閉会式 19:00～21:00 ネットワーク・レセプション（市内会場）

※訪問先との交渉は9月以降開始予定です。

JTBツアー利用ホテル

出展の方もご利用いただけます。
お申込みいただいてから予約をします。お早めにお申込みください。

ホテル シルケン ランブラス

HOTEL SILKEN RAMBLAS

住所：Carrer del Pintor Fortuny, 13, Barcelona, Spain

ツアー参加者様 11月2日（月）～ 11月6日（金） 朝食付き 4泊

旧市街に位置する抜群のロケーション

旧市街内にある4つ星ホテル。カタルーニャ広場、ブケリア市場、サンタ・ウエラリア大聖堂まで徒歩圏内という便利な立地にあります。

2023年に改修され、モダンで洗練された客室、明るいロビー、スタイリッシュなレセプションなど、快適な滞在をご提供します。バルセロナ観光の拠点として最適なホテルです。

バルセロナ・エル・プラット国際空港から約15km。地下鉄3号線リセウ駅から徒歩約3分。

カテゴリー 4つ星ホテル

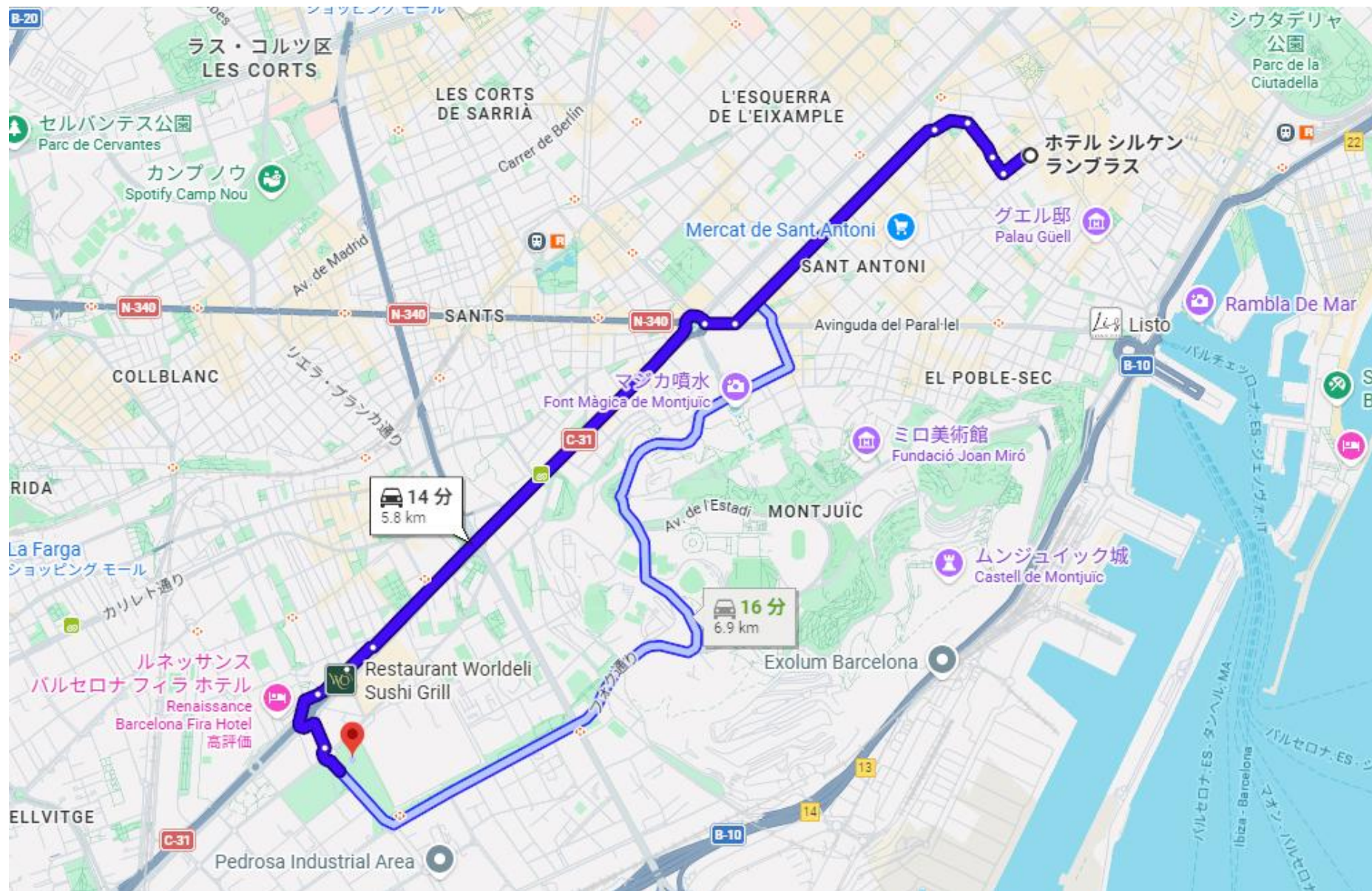


総客室数 105室



ホテル立地 (ホテル～会場)

- ブケリア市場 徒歩3分
- Expo会場 車で14分



【モデルプラン】概算見積

出展の方もご利用いただけます。
お申込みいただいてから予約をします。お早めにお申込みください。

- ご旅行期間：2026年11月1日(日)～11月7日(土)
- ご旅行先：バルセロナ(スペイン)
- 人数：1名様あたり
- 利用航空会社：ANA/ルフトハンザ航空(羽田発着 往路ミュンヘン/復路フランクフルト乗り継ぎ)

受注型旅行代金

項目		内容	単価	数量	金額
海外 (課税対象外)	国際航空券	【エコノミークラス・団体航空券】 往路:11月01日(日) NH217 羽田 23:30発⇒ミュンヘン 6:25着(翌2日着) 11月02日(月) LH1810便 ミュンヘン 09:00発⇒バルセロナ 11:05着 復路:11月06日(金) LH1131便 バルセロナ 17:10発⇒フランクフルト 19:20着 11月06日(金) NH224便 フランクフルト 20:45発⇒羽田 17:55着(翌7日着)	440,000	1 名	¥440,000
	国際航空券	燃油サーチャージ・海外空港諸税	91,190	1 名	¥91,190
	宿泊代	Hotel Silken Ramblas 11月2日(月)IN～6日(金)OUT(4泊分)/1名1室利用/朝食付き ※別途、現地にて宿泊税€9.24(1泊1名様あたり)のお支払いが必要です。	49,000	4 泊	¥196,000
	空港送迎(空港～ホテル間)	11月02日(月) バルセロナ空港～ホテル 空港送迎 11月07日(金) ホテル～バルセロナ空港 空港送迎	25,000	1 式	¥25,000
	専用車(ホテル～会場間)※希望者のみ	ホテル～会場 往路片道送迎(ミニコーチまたはミニバン)×3日間想定	27,000	式	参考価格
海外小計 課税対象外(A)					¥752,190
国内 (課税)	国内空港使用料	羽田空港施設使用料	2,950	1 名	¥2,950
	国内小計 課税(B)				
国内・海外 計					¥755,140
企画料金(課税対象外)(C)					¥75,514
総合計(A+B+C)					¥830,654
うち課税対象外					¥827,704
うち課税					¥2,950

※注 代金の変動が想定される要素については確定条件時点算出代金につき実績額にて精算いたします

※注 海外空港諸税、燃油サーチャージは2026年4月時点での金額です。航空券発券時に金額確定いたします。

【モデルプラン】日程表

	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	スケジュール	食事
1	2026年 11月1日 (日)	羽田発	20:45 23:30	NH217	羽田空港ご集合 羽田空港ご出発 < 機中 泊 >	機中:2回
2	11月2日 (月)	バルセロナ着	6:25 12:40 14:45 15:40 16:25	LH4160 専用車	ミュンヘンご到着 ミュンヘンご出発 バルセロナご到着 空港ご出発 ホテルご到着 チェックイン後、各自自由 < Hotel Silken Ramblas 泊 >	朝食:× 昼食:× 夕食:×
3	11月3日 (火)	バルセロナ	9:00 終日	専用車	ホテルから会場へ移動 SCEWC2026 (11/3~11/5 Fira Barcelona) < Hotel Silken Ramblas 泊 >	朝食:○ 昼食:× 夕食:×
4	11月4日 (水)	バルセロナ	9:00 終日	専用車	ホテルから会場へ移動 SCEWC2026 (11/3~11/5 Fira Barcelona) < Hotel Silken Ramblas 泊 >	朝食:○ 昼食:× 夕食:×
5	11月5日 (木)	バルセロナ	9:00 終日	専用車	ホテルから会場へ移動 SCEWC2026 (11/3~11/5 Fira Barcelona) フェアウェルパーティ(※SCI-Japan主催研修参加者のみ) @Restaurant Pomarada < Hotel Silken Ramblas 泊 >	朝食:○ 昼食:× 夕食:○ <small>※フェアウェルパーティへ参加される方のみ</small>
6	11月6日 (金)	バルセロナ	10:15 11:00 13:50 16:00 20:45	専用車 LH1129 NH224	各自チェックアウト、集合まで各自自由 ホテルロビー集合・出発 バルセロナ空港ご到着 バルセロナ空港ご出発 フランクフルトご到着 フランクフルトご出発 < 機中 泊 >	朝食:○ 昼食:× 夕食:×
7	11月7日 (土)	羽田着	17:55		羽田空港ご到着 ご到着後解散	

ご注意：発着時間、交通機関等は変更になる場合がございます。

お問い合わせ、お申込み先

株式会社JTB
第二事業部営業第一課
ご担当：勝山様、佐野様

TEL 03-5909-8091

営業時間/09：30～17：30、土日祝日休業

Japanパビリオン出展・視察プログラム参加意義

- 海外の都市イノベーション・リーダー、スタートアップとのネットワーキング & ビジネスマッチング
- 海外のゼロカーボン・スマートシティの取り組み、デジタル技術の社会実装、運営手法を学ぶ
- 海外市場開拓、海外の共創パートナー発掘
- 開催地バルセロナで持続可能な街づくりに向け、デジタル技術が街に溶け込んでいることを実感
- 共創パートナーの発掘：政府、自治体、企業他、異なる業種の方から違った角度でスマートシティに対するとビジネスと考え方を知ることができる。新規事業に取り組む参加者が多く、企業を超えた仲間づくりにつながる

-----more values !